



はじめに

著者	伊田 久美子, 田間 泰子
引用	女性学連続講演会. 2010, 14
URL	http://hdl.handle.net/10466/12690

はじめに

今期のテーマは「ジェンダーを装う」としました。

ジェンダーという語が日本で用いられはじめて、すでに10年以上が過ぎておりますが、私たちは相変わらず日常生活の中で、特定社会の特定のジェンダーを、生物学的性別による自然な男女の姿と考えがちです。しかし女のありよう、男のありようは、社会文化によって異なり、時代によって変化しています。ジェンダーは私たちが日々装い演じる中で再生産されながら、多様に変化して行く可能性を持っています。

今期はやくざ映画に見る「男らしい」身振り、現実の女性が用いる言葉づかいとは相当に距離のある「女ことば」、装うものとしてのセクシュアリティや身体、西欧や日本の歴史に見る異性装などを通じて、「女らしさ」や「男らしさ」を演じ装うジェンダーの諸相を考察しました。ご講演いただいた講師のみなさま、熱心に耳を傾け議論にご参加いただいたオーディエンスのみなさまに厚く御礼申し上げます。末筆になりますが、講演会・セミナーに先立つ事前学習から、運営、セミナーでのディスカッションなどに全面的に参加・協力いただいた大阪府立大学人間社会学研究科人間科学専攻現代人間社会分野の大学院生のみなさんに心から感謝申し上げます。

大阪府立大学女性学研究センター

伊田 久美子

田間 泰子